(日刊) 新潟日報 2021年(令和3年)10月4日(月曜日)

全焼工房 生まれ変わる

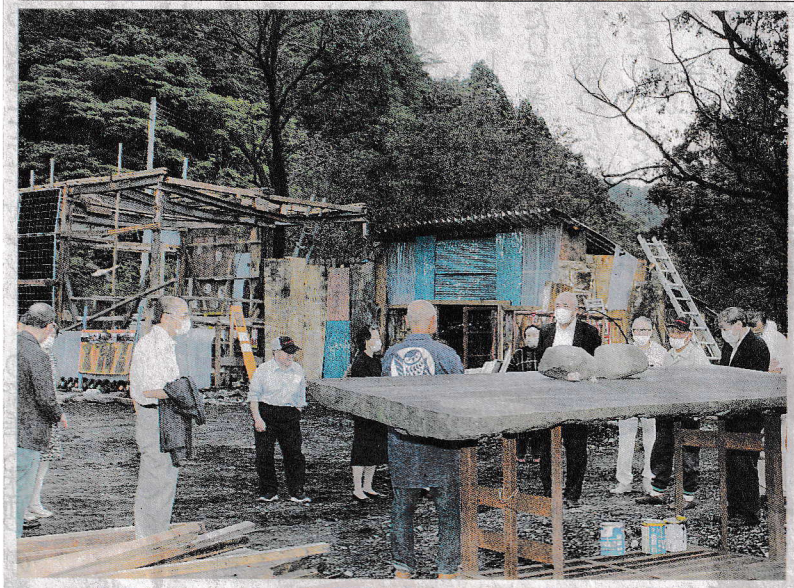
阿賀 里山アート展開幕

阿賀町豊実で「里山アート展18」が始まった。テーマは「アートと生活」。火災で工房などが全焼した彫刻家佐藤賢太郎さん(73)が、焼け跡を新たな展示場などに復興した。「リサイクルとアートを考えるきっかけにしたい」と話している。

NPO法人コスモ夢舞台が主催し18回目。代表の佐藤さんが8月の火災で焼け残った作品やトタンなどの部材を再活用した。トタンは焼け焦げた色を生かしてキャンバスとして使い、手伝いに来た学生がカラースプレーで模様を付けた。火災で真っ二つに割れた石は断面が見えるように展示している。

2日の開幕式は新潟市などから約20人が参加。佐藤さんは「焦げた作品の展示には二度と火事を起こさないという戒めも込めた」とあいさつした。福島県郡山市から来た大島和子さん(64)は「無から復活する姿を見て、新しい事が始まったと感じた」と話していた。

同展は23日まで。問い合わせは、佐藤さん、090(7639)8723。



火災で焼けた部材を再利用した作品などを展示する「里山アート展18」＝阿賀町豊実